



# 2021 年度 慈恵会医科大学

【 解 答 ・ 解 説 】

I

1. (1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 3

(1) dread は「～を恐れる」という意味の動詞。

(2) ensue は「後に続いて起こる」という意味の動詞。

(3) extract は「～を抽出する」という意味の動詞

(4) menace は「脅威」という意味の名詞。

2. (A) 1 (B) 2 (C) 2 (D) 2

(A) ( A )を含む文は「感染後、ウイルスは約 2 週間( A )するだろう。この間患者は無症状だが、ウイルスは体内で静かに増殖する。」とあることから、( A )には「潜伏する」という意味が当てはまると考えられる。これより 1 の incubate を選ぶ。

(B) ( B )を含む文は「ウイルスは骨や組織に感染し、致命的な( B )を起こすだろう。」とあり、その後致死率が述べられている。選択肢は 1.怪我、2.合併症、3.毒性、4.障害・不調 の意味であることから、死につながるという文意に沿っている 1 を選ぶ。

(C) ( C )を含む文は「これによって 18 世紀初頭には、感染した人の傷口から取った小さな膿やかさぶたを自分に擦り付ける人痘接種法の( C )が一般的となった。」とある。文意から「～の実践」と考えると自然。

(D) ( D )を含む文には「smallpox は 1967 年から 1977 年にかけて WHO が行った、隔離とワクチン接種といった( D )な世界的取り組みによってついに排除された」とある。大規模かつ長期間にわたる取り組みであることから「骨の折れる」という意味を持つ challenging を選ぶ。

3. 2

第二段落第 2 文目に「感染した人が持ったものに触れることで感染することもあったが、最も一般的な感染経路は感染者の呼吸器飛沫を吸い込むことであった。」とある。本問では「smallpox は普通どのようにして運ばれたか？」とあるため 2 が解答として適切。

4. 1

第二段落中盤で smallpox の症状を説明している。「初期の一般的な症状の後すぐに、より特異的な兆候である赤い発疹が手、足、口に現れる。発疹は小さな水膨れや膿疱として全身に広がる。」とある。本問では「smallpox を識別するための指標は何か？」を問われていることから、1 が最も適切。

#### 5. 4

人々が意図的に smallpox にかかった理由を問われている。第三段落 2 文目の thus から始まる文章で人痘接種法が一般的になったとあることから、その理由は直前の文に記述されている。1 文目には「smallpox に以前感染した人は二度同じ病気にかかることはないということが一般的な知識となっていた。」とあるため、最も近い文意を持つ 4 を選ぶ。2 については”scarred”つまり傷跡について言及しているため誤り。

#### 6. 3

第四段落第 3 文目に「ジェンナーは酪農場で働く女性の手にある感染済みの水膨れから膿を抽出し、8 歳の男の子の腕の小さな切り口にこすりつけた。」とある。またこの酪農場で働く女性は cowpox にかかっていたら smallpox にはかからなかったと直前にあることから、最も文意の近い 3 を選ぶ。

#### 7.

I think Dr. Jenner's method of testing his vaccine was ethical because the boy seemed to agree with the treatment. In fact, variolation made the mortality rate for smallpox lower than doing nothing. Therefore, the boy may not have been reluctant to take part in the testing. In this case, Dr. Jenner's method could be ethical.

## II

#### 1. (C)

空所より前で、ナイチンゲールの時代は自然の光と空気に触れるような病室の環境にしたと書いてあるが、空所以前では今は自然の光を治療で重視していないと書いてあるので、(C)が答え。特権についての話はしていないので(1)ではない。ナイチンゲールの観察によりナイチンゲールが電気を付けているわけではないから(2)も×。同情についての話でもないから(4)も違う。

#### 2. (B)

ward (病棟) に so patients were exposed to light throughout the day となるような工夫がされていることがわかる。(A) や(C)はその日中の光の採取に貢献しているとは思えない、(D)は病棟自体に施すことではないので(C)が答えとした。

#### 3. (A)

主語は windows なので文構造から考えて(A)。内容面から考えても、光が少なくなる種子の記述が入らなければならないので、やはり(A)である。

#### 4. (B)

bathed には「(光などを) 浴びる」という意味もある。第一段落最後の文では室内の光について、ちらつくと体調が悪くなる患者がいるとある。よって(B)が正解。光の影響があるといっているから(A)ではない。(C)の後から体調が悪くなるという時間的差の根拠はない。ケアできないという記述もないから(D)も違う。

5. (A)

induce 人 to do で「(人を)勧誘して～する気にさせる、説得して～させる」という意味がある。空所と人名の後に to lament とあるので、構文が使える(A)が答え。

6. (C)

空所後に, related to an absence of light — not just overcrowded とあるので、in part とも合い、内容的にも最も突拍子もないこともなく、スムーズにつながるだろう。よって(C)を答えとした。

7. (C)

the great strides that の that 以下は the great strides を修飾するので、空所と the great strides 合わせて完全文にならなければならない、(B)や(D)ではない。much to be desired で「もったいない」、all but forgotten で「ほとんど忘れられている」という意味。The great strides は光による治療を指すので、それ自体はもったいないよりも忘れ去られているという形容が適しているだろう。よって(C)を解答とする。

8. (B)

空所に入る語句は the resistant organisms を修飾する。antibiotics (抗生物質) の使用によって the resistant organisms (抗生物質に耐性のある生物) が生じているので(B)が正解。the resistant organisms 自体は病気に罹患しないので(A)は×。sanatorium は第四段落3行目より療養施設だとわかるので、(C)も違う。the resistant organisms が日光によって実際に消毒されるかの根拠はないので(D)は(B)よりかは不適だろう。

9. (C)

(A)は but 以下と同じような内容になってしまい逆説が働かないので×。室内の光についての話をしているので、直射日光については適さないので(B)でもない。

10. (D)

(A)は dues の部分がかかなり強いニュアンスになり、その根拠がないので不適だろう。immersion program は特にどんな機構かという説明はないので×。: より前で not just an aesthetic pleasure とあるので(C)も違う。光を浴びることで伏せうだり治療できる病気があるという主旨の本文なので、そのことで水が反映できると考えられるので(D)が最も適しているだろう。

### III

1. (A) 3 (B) 4 (C) 1 (D) 3

(A) 関係副詞 where の先行詞として適切なのは3の instance である。

(C) help with ~ で「～を手伝う」という意味の熟語。

(D) setting にも「環境」などの意味があるが、これは自然の環境を特に示す。upbringing は「育て方・しつけ」であり不適。background には「生い立ち・生育環境」といった意味があるためこれが正解。

2. (1) 4 (2) 3 (3) 4 (4) 4

(2) ここでいう **misleading** (紛らわしい) というのは、英語に似た字面で全く異なる意味を持つ単語が存在するスペイン語の単語のことを指す。これより「誤解させるような」という意味のある 3 を選ぶ。

(4) **strive to** ~で「~するよう努力する」という意味。これに最も近いのは 4 の **attempts** である。

3. 4

第二段落 1 文目で「間違いでも「惜しい間違い」をすると、全く間違いをしないよりも情報を覚えることを助ける」とあることなどから 4 を導ける。1 は **wild mistake** が惜しい間違いとは反対の意味を示すため誤り。2 も **unrelated to** ~ が惜しい間違いと反対の意味を示すため誤り。3 は本文にこのような記述はない。

4. 1

第三段落 1 文目に「これらの発見は、若者だけでなく晩年に学習をする人にとっても学びの質を向上する助けとなる」とある。これより選択肢の 2 と 3 が間違いと分かる。また 4 については第六段落に「これらの発見に基づくと、テストに向けて勉強している人は内容を復習した後のみ実践問題を解くべきである。」とあるが、「テストに向けて詰め込み勉強をした人はこの方法を使ってより上手く分析ができる」という 4 の内容とは合致しない。これより 1 を選ぶ。

5. 3

まず、第四段落から実験のために用意されたスペイン語の単語は、英語に綴りが似ていてかつ意味も似ているものと英語に綴りは似ているものの意味が全く異なるものの二種類であると分かる。次に第五段落から、「被験者はスペイン語の単語を見せられ、意味を推測するよう言われた。」とあり、この時見せられた単語は意味が英語と似ているか否かで分けられていたという記述はない。これより 2 は誤り。4 は「英語と似ているように見える単語も、異なって見える単語も～」とあるが、実際には全て綴りは英語に似た単語を用意しているため誤り。1 については「英語と比較して意味を理解する」の部分が誤り。よって正解は 3 となる。

6. 2

1 については“**sounded**”の部分が誤り。本文で触れられていたのは単語の字面・綴りについてである。次に 4 については「はじめに正しい意味を推測したときにより単語の意味を覚えることができる」とあるがこのような記述は本文にない。3 については **wild guesses**(あてずっぽう)の部分が誤り。この実験では綴りが英語に似た単語の意味を推測するため、あてずっぽうではなく、綴りの似た英語の意味を間違えて推測してしまうのである。よって 2 のみが正しい。